

西尾商工会議所 環境アクションプラン

1. 策定趣旨

世界的に脱炭素へ向けた動きが加速化し、本国においても 2050 年カーボンニュートラルの実現を目指す方針が宣言された。企業においては、環境と経済を両立させた「持続可能な社会」の実現に向け、長期的・継続的に環境に配慮した経営に取り組んでいくこと（環境経営）が求められている。

このような社会情勢を受け、西尾商工会議所（以下、「当所」）は地域総合経済団体として、会員企業の環境経営への取組を支援するとともに、当所としても環境対策につながる取組を進めていくために、環境アクションプランを策定する。

2. 基本方針

会員企業が環境経営に自主的・継続的に取り組むための情報提供をするとともに、当所としても無理なく継続的に環境対策に取り組む。

3. 実施体制

（1）実施体制

当所「ECO 特別委員会」が主管し、計画を推進する。（担当：当所総務課）

（2）達成目標の検証

毎年度、執行状況の確認と結果をふまえ、必要があれば当アクションプランの見直しを実施する。当アクションプランは当所ホームページ上に公開する。

4. 実施事業

（1）会員事業所の取組みへの支援

- ①会員事業所の CO2 排出量の実態把握を支援するため、日商の「CO2 チェックシート」を周知し、活用促進を図る。
- ②会報・ホームページ・メールマガジンを通して、環境経営に関する情報を発信し、補助金・助成金の活用促進を図る。
- ③環境経営に関連したセミナーの開催。
- ④先進事例・好事例の視察見学会の実施。
- ⑤顕彰事業「にしお事業所環境賞」の実施。
- ⑥愛知県 SDGs 登録制度の周知と登録支援の実施。

（２）地域・行政等と連携した取組みの推進

- ①会員事業所が環境対策に取り組むための支援施策等を必要に応じ要望。
- ②西尾市環境審議会への参画。
- ③容器包装リサイクル委託業務の実施。

（３）事務局内の環境対策活動の推進

①人材育成

- ・環境経営に関連したセミナーへの参加、職員の意識向上・知識増を図る。

②電力使用量の削減

- ・日商の「CO2 チェックシート」を活用した現状の把握。
- ・電力デマンド監視装置（ECO ナビ）と太陽光発電システムの活用による、エネルギー使用量の見える化。
- ・クールビズ、ウォームビズの実施。
- ・事務室や会議室の室温を夏 28℃・冬 20℃となるよう空調温度を設定。
- ・複合機の省電力設定、不使用時 PC 電源切断等、OA 機器の待機電力の低減に努める。
- ・会館内での不要時消灯、階段利用の徹底。
- ・省エネ機器（空調設備、コピー機、照明器具等）の導入。
- ・定時勤務の推進。

③廃棄物排出量の削減

- ・職員のマイバック、マイボトル持参の推奨。
- ・会議等における発注量の見直し等による食品ロスの削減。
- ・コピー用紙の使用量削減。
- ・使用済封筒の再利用。

④その他

- ・グリーン購入の実施。（再生材料製品の積極的な購入）
- ・5S 活動の徹底。
- ・近距離用務時の共有自転車の活用、徒歩移動の推奨。
- ・エコドライブの励行。

以上
令和 5 年 1 月策定